

協定実績 2022年度

番号	協定先	実績	協定の種類	担当
1	浜中町	浜中町内の農地、昆布干場、霧多布岬におけるエゾシカ生育状況調査及びエゾシカ侵入防止電気柵の技術改良とアライグマの生育状況調査に関する研究 立木先生(2022年6月1日～2023年3月31日)	地域総合交流	循環農学類 猫本准教授 環境共生学類
1	浜中町	実践酪農学実習を実施させていただき実践酪農学コースの学生4名が浜中町の酪農上にて4か月間の長期酪農実習を実施した。	地域総合交流	循環農学類 猫本准教授 環境共生学類
1	浜中町	実践酪農学(7月22日)の特別講義にて農協の高橋参事に講師を務めていただいた。	地域総合交流	循環農学類 猫本准教授 環境共生学類
2	栗山町	栗山町民講座について本学川端准教授が3月29日に講師を務め行われた	地域総合交流	社会連携センター
4	道央農業振興公社	第2回新規就農研修生 集合研修「農業協同組合を理解する」を実施した(6月10日)	地域総合交流	循環農学類
4	道央農業振興公社	農協実習(農業経済学コース必修科目)を実施した(8月29日～9月1日)。食糧農業農村調査実習の一環として毎年実施しているが、今年度は内容を改めて農協職員による講義、施設見学、作況調査などを行うとともに、公社で研修中の新規就農希望者とともに作業し、座談会も実施した。	地域総合交流	循環農学類
4	道央農業振興公社	第5回農業塾「管内の優良経営視察」(11月11日実施)。農業塾の一環として、農業塾に参加している新規就農者や農業後継者8名とともに管内の優良経営を視察するとともに、視察後には公社でワークショップを実施した。	地域総合交流	循環農学類
4	道央農業振興公社	第6回農業塾「JA道央の農業振興と販売戦略」(12月1日実施)。農協職員による地域振興計画と販売戦略の講義にファシリテーターとして参加した。	地域総合交流	循環農学類
4	道央農業振興公社	第7回農業塾「農業経営改善計画と実際の経営状況:経営分析から改善点を検討する」(12月23日実施)。経営コンサルタントを講師として招き、ファシリテーターとして経営セミナーに参画する予定であったが、大雪により講師が急遽欠席し、講師兼ファシリテーターとして講義を実施した。	地域総合交流	循環農学類
4	道央農業振興公社	第8回農業塾「我が家の経営改善方針」(2月24日実施)。農業塾の総仕上げとして、塾生に我が家の経営改善方針を報告してもらう講義にファシリテーターとして参加するとともに、改善に向けたコメントも行った。	地域総合交流	循環農学類
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	ジモガク登録学生増加のため、授業のなかでチラシ配布および事業の説明をおこなった。また、UNIPAを通して学生向けに周知をおこなった	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別シティプロモート推進協議会に出席した	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別ホルスタインショウへ実行委員会として参加	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	トラフグの養殖場を視察させていただいた(獣医学類 萩原先生)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	ふるさと江別塾にて循環農学類 山田(末)先生・日向先生が講演した(公開期間2022年11月1日から2023年1月31日)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	えべつホルスタインショウについて協賛およびカップを用意した、また高橋副学長が開会挨拶をおこなった	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	EBETSUtoのPRブースを設置した4月～6月末まで	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市生涯活躍の街「交流農園」へ協力依頼があり、園田先生が学内で講師を務めた。(8月31日)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市民に対する食習慣調査の相談を受けた。(8月9日)引き続き協力する。	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	教職実践演習の授業の中で、地域農業を学びたい学生のグループ向けに、江別市の農畜産物やその取組事例等について、江別市農業振興課の職員からの講演会を実施した。(10月6日16:20～17:50)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	えべつ未来づくりプラットフォーム主催「江別4大学FD・SD」について小糸先生宛に依頼があった(札幌学院大学)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	えべつ未来づくりプラットフォーム主催「江別4大学FD・SD」について中村(隆)課長宛に依頼があった(札幌学院大学)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	井上先生宛に経済学特別講義Cの講師派遣依頼があった(札幌学院大学)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市より令和4年度地球温暖化対策職員セミナーについて吉田先生宛に講師依頼があった(12月13日)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別4大学共同授業科目「全学共通特別演習B」について井上先生宛に依頼があった	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市より吉田先生宛に江別市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定にかかる講師依頼があった	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市より令和4年度江別市環境経営普及セミナーにおいて本田先生宛に講師依頼があった(2023年3月20日)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市より小糸先生宛に江別市都市計画審議会委員の委嘱について依頼があった(2024年6月5日まで)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市未来型政策検討委員委員について佐藤(和)先生宛に委嘱依頼があった(2024年6月まで)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市環境審議会委員について吉田先生宛に委員委嘱依頼があった(2026年7月31日まで)	包括連携	社会連携センター

協定実績 2022年度

5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市環境審議会委員について吉田先生宛に委員委嘱依頼があった(2026年7月31日まで)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	第7次江別市総合計画の策定に係る江別市行政審議会委員の委嘱依頼が井上先生宛にあった(2023年7月まで)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	江別市におけるスマート農業の推進によるSDGsの実現 小川先生(江別市大学連携調査研究事業補助金、2022年6月28日～2023年3月31日)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	とうふかす堆肥の製造 依田さん(作物栄養学研究室学生、江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金、2022年8月1日～2023年3月31日)	包括連携	社会連携センター
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	札幌学院大学より牧原先生宛に非常勤講師の依頼があった(2022年度末まで)	包括連携	社会連携センター
6	江別市・食品加工研究センター	8月29日意見交換会を食品加工研究センターにて開催した。交換会終了後はセンター内の視察も行った。	包括連携	社会連携センター 学務部研究支援課 食と健康学類 小野寺教授、松津教授、本田教授
7	北海道大学	乳製品に関する微細構造解明プロジェクト酪農×工学による新食感チーズの開発～旨味と構造の相関～ 金田先生・栃原先生(2022年7月4日～2023年3月31日)	知財等連携	全学 部研究支援課 学務
8	洞爺湖町	6月29日、新たに市長となられた下道町長 他2名が来学され、本学環境共生学類教員および学長理事と意見交換を行った	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
8	洞爺湖町	8月23日 洞爺湖町の特産品を使ったふるさと納税返礼品の開発についてオンラインで打ち合わせを行った。本学からは食と健康学類阿部教授が参加した	地域総合交流	食と健康学類 阿部教授
8	洞爺湖町	洞爺湖中島におけるエゾシカ低密度管理の実践と洞爺湖における生物多様性保全と自然環境保全の支援に関する研究 伊吾田先生・保原先生・松山先生・立木先生・吉田先生(2022年6月1日～2023年3月31日、洞爺湖中島自然環境再生事業業務)	地域総合交流	環境共生学類 吉田磨教授
9	(公財)北海道農業公社	新規就農相談会(11月18日)を実施した。相談員2名を派遣いただき、新規就農に関心のある学生に向けた相談会を対面で実施した	包括連携	全学 キャリアセンター 環境共生学類 金子教授
9	(公財)北海道農業公社	インターンシップweb合同セミナーを、キャリアデザインⅠ授業内にて生放送で実施した。	包括連携	全学 キャリアセンター 環境共生学類 金子教授
9	(公財)北海道農業公社	相原先生宛に令和4年度北海道6次産業化サポート事業地域支援検証委員会委員の委嘱について依頼があった(2023年3月20日まで)	包括連携	全学 キャリアセンター 環境共生学類 金子教授
9	(公財)北海道農業公社	農用地開発整備技術向上に資するICT技術を活用した教育教材開発に関する研究 金子(正)先生・小川先生(2022年6月1日～2023年3月31日)	包括連携	全学 キャリアセンター 環境共生学類 金子教授
9	(公財)北海道農業公社	実践酪農学の特別講義(10月14日)にて北海道農業公社の葛西様に講師を務めていただいた(テーマ 行政による新規就農のサポート)	包括連携	全学 熊本先生
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	北海道ブラックアンドホワイトショウについて協力依頼があり、花摘み隊を派遣した(5月21日 4名)	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	北海道ホルスタインナショナルショウについて協力依頼があり、花摘み隊を派遣した(9月24日・25日)	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	2022年9月15～16日で本学を会場に内部審査研究会が開催された	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	臨床繁殖学実習において、人工授精実習あるいは精液検査実習のために、種雄牛精液を提供していただいた。凍結ストロー精液200本および新鮮精液のべ4頭分を提供していただき、本物の精液を用いた実習を展開することができた。(4月12日～6月3日、ジェネティクス北海道)	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	企業説明会・業界セミナーにご参加いただいた(家畜人工授精師web合同説明会5月25日29名参加、家畜人工授精師業界セミナー11月24日19名参加、就活解禁直前合同業界セミナー2月6日3名、単独企業説明会3月17日4名参加)。(ジェネティクス北海道)	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	単独企業説明会を6月7日に実施した	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	2022年度生乳取扱者技術認定講習会の講師を岡本先生が依頼された	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	乳用牛の経済諸形質に関するゲノミック評価値の迅速で正確な算出に関する研究 増田先生(ジェネティクス北海道、2023年1月10日～2023年3月31日)	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	本学の授業 家畜繁殖技術論/家畜管理・栄養学実験Ⅰ/家畜繁殖技術論/家畜育種学/受精卵移植論/肉用家畜使用学実習/家畜管理・栄養学実験Ⅱ/家畜育種繁殖学実験/必乳生理学にてホル協・GH・北酪協の職員に特別講義の依頼をおこなった	包括連携	循環農学類 西寒水准教授 稲森技師
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	獣医学類4年次 臨床繁殖学実習にて、人工授精の実習では凍結精液を120本、精液検査実習では新鮮精液2頭2回分を提供いただき、実習に活用した。	包括連携	獣医学類 杉浦助教
11	GIS関連団体3社	佐藤(喜)先生宛に令和4年度ヒグマ保護管理人人材育成研究事業に関わる講師の依頼があった(RnVision)	包括連携	環境共生学類 金子教授

協定実績 2022年度

11	GIS関連団体3社	佐藤(喜)先生宛に令和4年度ヒグマ保護管理人材育成研究事業に関わる講師の依頼があった(EnVision)	包括連携	環境共生学類 金子教授	
11	GIS関連団体3社	伊藤先生宛に令和4年度ヒグマ保護管理人材育成研究事業に関わる講師の依頼があった(EnVision)	包括連携	環境共生学類 金子教授	
12	財団法人札幌市公園緑化協会	酪農学園大学園芸学研究室で育成したユリ系統を百合が原公園ユリ展「酪農学園大学コーナー」にて展示した。コーナーにアンケートを設置して感想をまとめた。	連携協力	環境共生学類 松山准教授	
12	財団法人札幌市公園緑化協会	平岡公園にぎわいフェスタでの体験ブースを出展した。中谷教授および研究室の学生で子供向けつかめる水などの理科実験コーナーを設営に子供たちに体験してもらった。また、大学院生による「植物ギンリョウソウ」の開設展示を行った。	連携協力	環境共生学類 松山准教授	
13	滝上町	9月13日～22日で実践酪農学演習における酪農体験研修を滝上町にて開催した	地域総合交流	循環農学類 本准教授	猫
13	滝上町	2023年2月22～23日、江別葛屋書店にて開催された「タキノウエタイケン」に本学松山准教授と大学院生および研究室の4年生が協力した	地域総合交流	環境共生学類 松山准教授	
13	滝上町	「まなびやたきのうえ」について松山先生宛に協力依頼があった	地域総合交流	環境共生学類 松山准教授	
13	滝上町	酪農体験実習として本学学生(1年生、5名)が酪農場にて10日間の体験実習を実施させていただいた(9月13日～22日)	地域総合交流	循環農学類 猫本准教授	
15	標茶町・JA標茶・標茶高校	釧路町産の稚海藻を、標茶町産のホルスタイン種去勢肥育牛に給与し、その効果について検討した。(海藻餌がもたらす牛のメタン排出抑制効果実証実験に関する研究、2022年5月16日～2023年2月4日)	地域総合交流	循環農学類 泉教授	
15	標茶町・JA標茶・標茶高校	海藻と経産牛等の相互活用に関する研究 泉先生(2021年11月29日～2022年7月31日)	地域総合交流	循環農学類 泉教授	
15	標茶町・JA標茶・標茶高校	公開シンポジウム「若者を農村に呼び込む交流会」を実施した(12月8日)	地域総合交流	循環農学類 泉教授	
17	占冠村	占冠村での野生野生動物の調査・試料および情報の提供について、全面的にご協力いただいた。また、占冠村ヒグマミーティングにて、調査結果の報告や普及啓発を村民に向けて行った。	地域総合交流	環境共生学類 伊藤講師	
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	地域総合交流推進協議会総会へ高橋副学長と大塚先生が出席した	地域総合交流	獣医学類 樋口教授	
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	えんゆう地区の遠軽・湧別・佐呂間家畜診療所に、獣医学類5年の臨床実習の受け入れをしていただいた	地域総合交流	獣医学類 樋口教授	
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	7月21日、遠軽町役場およびJAえんゆうより本学へ来学いただき哺育育成センターの進捗状況報告及び助言に関するお礼を受けた	地域総合交流	循環農学類 森田教授 元教員 高橋(俊)教授、高橋(圭)教授 獣医学類 大塚教授	
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	7月14日に酪農学園大学における各学類の研究活動紹介を遠軽高校にておこなった。	地域総合交流	獣医学類 樋口教授	
21	札幌グランドホテル	紫アスパラガスを5月中旬から6月中旬にかけて週2回出荷した	包括連携	循環農学類 園田先生	
21	札幌グランドホテル	7月コールラビ20kgとコースラビ5kgを出荷した	包括連携	循環農学類 園田先生	
22	北海道	附属理科教育センターの研修セミナーについて会場として本学を提供した	包括連携	全学	
22	北海道	空知総合振興局の依頼でワーキングホリデー(農業バイト)参加者を学生に募った	包括連携	全学	
22	北海道	2023年度インターハイが北海道で開催されることをうけ、協賛の依頼があった。このことについて学校法人酪農学園として協賛した。	包括連携	全学	
22	北海道	道庁より要請を受け、農政部主催「脱炭素畜産技術導入全道検討会」で、パネルディスカッションに参加し、国内酪農での温室効果ガス削減技術と削減割合に関する研究成果を報告した。(日向先生)	包括連携	全学	
22	北海道	北海道森林管理局より「札幌水源の森づくり2022」の開催における協力団体依頼があった	包括連携	全学	
22	北海道	6月10日に本学を会場として宗谷酪農セミナーを開催した	包括連携	全学	
22	北海道	石狩家畜保健衛生所の職員4名を講師として招き、家畜伝染病の予防、発生時の対応に関する講義や机上防疫実習を実施していただいた。(6月20日、6月28日、7月5日)	包括連携	全学	
22	北海道	企業説明会・業界セミナーにご参加いただいた(公務員獣移植合同説明会(WEB)5月13日22名参加、【獣医職】単独企業説明会(対面)2月15日5名参加、【農政部】単独企業説明会(WEB)3月24日5名参加)	包括連携	全学	
22	北海道	令和4年度石狩管内企業&学生交流会を9月13日に実施した。ワールドカフェ形式で「企業や職業を選ぶ基準」「良い企業・良い仕事」について意見交換を実施した。	包括連携	全学	
22	北海道	8月1日から10月31日の期間で北海道農政部インターンシップへ10名が参加した。学生実務研修への参加。	包括連携	全学	

協定実績 2022年度

22	北海道	北海道庁1階ロビーにて酪農学園大学のPR動画を放映していただいている(12月20日ごろ～)	包括連携	全学
22	北海道	酪農学園ホールにて道庁の取組動画を放映している(12月12～)	包括連携	全学
22	北海道	令和4年度第1回北海道農業・農村振興審議会の開催について園田先生宛に依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	令和4年度元気なふるさとづくりミーティング「まちづくりワークショップ」(日高地区)の開催について井上先生宛に依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	北海道松山振興局より義平先生宛に「2022年度農業よ障がい者福祉の連携を推進するセミナー」について講師依頼があった(11月24日)	包括連携	全学
22	北海道	令和4年度網走保健所管内特定求職施設等栄養管理研修会について北海道オホーツク総合振興局より小林(道)先生宛に依頼があった(2023年2月9日)	包括連携	全学
22	北海道	令和4年度第2回北海道農業・農村振興審議会について園田先生宛に依頼があった(2023年1月30日)	包括連携	全学
22	北海道	脱炭素畜産技術導入全同検討会に係る講師依頼が北海道農政部より日向先生宛にあった(2023年2月13日)	包括連携	全学
22	北海道	令和4年度管内特定給食施設等料理従事者研修会にかかる講師依頼が十勝総合振興局より杉村先生宛にあった(2023年3月14日)	包括連携	全学
22	北海道	北海道立北の森づくり専門学院より伊吾田先生宛に「野生動物保護管理(エゾシカの狩猟と管理)」というテーマで講師依頼があった(2023年2月3日)	包括連携	全学
22	北海道	北海道留萌振興局より令和4年度のもいF(ファーマー)プロジェクト(大学との連携事業)意見交換会において相原先生宛に講師依頼があった(2月8日)	包括連携	全学
22	北海道	北海道庁生活環境部より伊吾田先生宛にエゾシカ対策有識者会議次期構成員としての委員委嘱があった(2024年度まで)	包括連携	全学
22	北海道	北海道開発局より国営事業評価技術検討委員の委嘱について井上先生に依頼があった(2022年度末まで)	包括連携	全学
22	北海道	北海道教育庁教職員局教職員課より志賀先生宛に令和4年度北海道・札幌市公立学校教員採用に関する協議会について委員委嘱の依頼があった(任期不明)	包括連携	全学
22	北海道	エゾシカの病理検査について北海道環境生活部より松田先生に委嘱依頼があった(2022年度末まで)	包括連携	全学
22	北海道	北海道開発局より令和5年度新規地区着工要求にあたっての学識経験者の委嘱について義平先生宛に依頼があった(2022年度末まで)	包括連携	全学
22	北海道	北海道生活環境部より井戸田先生宛に地理的表示(GI)登録実現に向けた検討懇話会の構成員の就任について依頼があった(2022年度末まで)	包括連携	全学
22	北海道	循環資源利用促進設備整備費補助事業評価意見聴取会評価委員について本田先生宛に委員委嘱依頼があった(期間不明)	包括連携	全学
22	北海道	北海道環境生活部より金子(正)先生宛に令和4年度北海道地域環境学習講座(eco-アカデミア)に係るトレーナーの就任依頼があった(2022年度末まで)	包括連携	全学
22	北海道	北海道経済産業局よりJAPANブランド育成支援等事業採択審査委員会委員の委嘱について石井先生宛に依頼があった(2024年3月31日まで)	包括連携	全学
22	北海道	中谷先生宛に北海道環境審議会専門委員の委嘱依頼があった(2024年12月16日まで)	包括連携	全学
22	北海道	吉中先生宛に北海道環境審議会専門委員の委嘱依頼があった(2024年12月16日まで)	包括連携	全学
22	北海道	北海道庁より北海道農業・農村振興審議会委員について園田先生宛に委員委嘱の依頼があった(任命の日から2年間)	包括連携	全学
22	北海道	北海道環境生活部より北海道ヒグマ保護管理検討会構成員の委嘱依頼が佐藤(喜)先生宛にあった(2024年3月31日まで)	包括連携	全学
22	北海道	北海道教育委員会よりマイスター・ハイスchool運営委員会について鈴木(一)先生宛に委員委嘱依頼があった(2024年3月31日まで)	包括連携	全学
22	北海道	GISを活用した地域課題共有手法の最適化研究業務(農政部、2022年6月21日～2023年2月28日)	包括連携	全学
22	北海道	第70回家畜保健衛生業績発表会の開催について樋口先生に依頼があった	包括連携	全学
22	北海道	実践農学講義として宗谷酪農セミナーin酪農学園を本学にて開催した(6月10日)。稚内市、浜頓別町、中頓別町、豊富町、幌延町、枝幸町、北海道農業公社がブースを出展した	包括連携	全学
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	肉製品の製造について本学前田准教授が助言した	地域総合交流	循環農学類 三枝俊哉教授
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	前田准教授が12月6日にエゾシカ有効活用推進をテーマとして出張セミナーをおこなった	地域総合交流	循環農学類 三枝俊哉教授
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	前田准教授にかわり阿部教授が肉製品の製造について各種対応し、12月2日に来学された際に水分活性等の測定に協力した	地域総合交流	循環農学類 三枝俊哉教授

協定実績 2022年度

23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	2023年2月21～22日で阿部先生と学生3名が中標津町へ訪問した	地域総合交流	循環農学類 三枝俊哉教授
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	11月7日に宮崎先生および学生2名が中標津農業高校に訪問し、商品開発について連携した	地域総合交流	循環農学類 宮崎講師
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	1月12日に中標津農業高校および役場職員が来学し、宮崎先生と商品開発について連携した	地域総合交流	循環農学類 宮崎講師
23	中標津町・中標津町教育委員会・中標津農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校	企業説明会・業界セミナーにご参加いただいた(家畜人工授精師WEB合同説明会5月25日人数不明、家畜人工授精師業界セミナー11月24日8名参加)	地域総合交流	循環農学類 三枝俊哉教授
24	北海道科学大学	ヒトの生命誕生に携わる人材育成カリキュラムの一環として、酪農における分娩、子牛の誕生、哺育・育成、牛乳生産の現場を体感することを目的に、中辻が講師として酪農生産ステーションの見学、説明を行った。本科目はコロナ禍で中止を余儀なくされ、3年ぶりの開講であった。タイミングよく分娩に立ち会うことができた。(2022年11月5日(土):10:00-12:00)	包括連携	循環農学類 中辻教授
24	北海道科学大学	畜舎環境におけるアンモニア等の腐食性ガスが、建材や屋根材に与える影響について調査・研究する(共同研究)、本学インテリジェント牛舎のフリーストール牛舎およびふん尿攪拌室において、短冊状の試験片を吊して暴露試験を実施した。2015年より継続して年数回試験片の腐食程度の確認、計測を行っており、本年の実施日において試験片を回収して、すべての試験が終了した。	包括連携	循環農学類 中辻教授
25	札幌市	獣医学類 クリニカルローテーションにおいて札幌市円山動物園に学生を受け入れていただいた(10月24日～12月12日 毎週月曜日)	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	11月より馬場准教授の研究および気象気候学研究室学生の卒業論文のため、札幌市内小学校の百葉箱へ観測機器を設置させていただいている。	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	企業説明会・業界セミナーにご参加いただいた(公務員獣医職合同説明会(WEB)5月13日10名参加)	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	フィールドと動物園での普及活動を通して考える 人と熊の「いい距離感」をテーマとして講師依頼があった(12月18日)	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	札幌市より森(志)先生宛に札幌市の設置する都市公園の指定管理者選定に伴う選定委員会委員への委員委嘱依頼があった(2022年度末まで)	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	札幌市教育委員会より杉村先生宛に令和4年度札幌市学校給食運営委員会委員の委嘱について依頼があった(2023年7月9日まで)	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	札幌市より認定動物園支援事業部会委員への委嘱について吉中先生および郡山先生に依頼があった(2023年9月30日まで)	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	「令和4年度札幌市内エゾシカ生育状況に係る研究」立木先生(2023年1月4日～2023年3月31日)	連携協力	獣医学類 鈴木教授
25	札幌市	8月25日にインターンシップへ学生が1名参加した。就業意欲の向上及び姿勢に対する理解の情勢を目的としたインターンシップへの参加。	連携協力	獣医学類 鈴木教授
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	連携協議会を書面開催にて行った(2023年1月23日)	連携協力	全学 社会連携センター 学務部研究支援課
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	令和4年度北海道農業試験会議にて中辻先生宛に講師依頼があった(2023年1月16日、オンライン)	連携協力	全学 社会連携センター 学務部研究支援課
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	食品加工研究センターより船津先生宛に食関連研究課題検討会に係る構成員(外部有識者)委嘱について依頼があった(2022年度末まで)	連携協力	全学 社会連携センター 学務部研究支援課
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	牛乳房炎に対するファージセラピーの応用に関する研究 岩野先生(2021年10月21日～2023年3月31日)	連携協力	全学 社会連携センター 学務部研究支援課
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	園芸学研究室のゼミ調査として、花・野菜技術センター(5月30日)および道南農業試験場(11月11日)を訪問し、場内を案内いただき試験内容を説明頂いた。	連携協力	全学 社会連携センター 学務部研究支援課
28	北海道ワイン株式会社	ブドウ苗管理作業の指導およびワイン醸造施設の見学、解説を受けた(ブドウ苗の夏剪定作業指導・ブドウ果実の収穫と醸造所の見学・解説、ブドウ苗の冬剪定作業指導)	包括連携	食と健康学類
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	企業説明会・業界セミナーを実施した(単独企業説明会8月23日0名、9月6日4名、9月21日1名、10月21日0名、11月22日2名、12月12日3名、1月17日0名、3月17日1名、公務員獣医職合同説明会(WEB)5月13日40名参加、家畜人工授精師WEB合同説明会5月25日18名参加、家畜人工授精師業界セミナー11月24日11名参加、就活解禁直前業界セミナー2月8日2名)	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	令和4年度損害評価会第2回家畜共催部会の開催について田島先生に依頼があった。	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	北海道農業共済組合より園田先生宛に令和4年度損害評価園芸施設共催部会における講師依頼があった(2023年3月3日)	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	組合乳牛損防健診事業、牛群健診に関する研究 及川先生・福森先生(2020年9月1日～2023年3月31日)	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授

協定実績 2022年度

30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	令和4年度損害評価会第2回家畜共催部会の開催について田島先生に依頼があった。	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	北海道農業共済組合より園田先生宛に令和4年度損害評価園芸施設共催部会における講師依頼があった(2023年3月3日)	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	組合乳牛損防健診事業、牛群健診に関する研究 及川先生・福森先生(2020年9月1日～2023年3月31日)	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	北海道農業共済組合より園田先生宛に北海道農業共済組合損害評価委員会の委嘱について依頼があった(2025年3月31日まで)	包括連携	獣医学類 及川教授、中田教授
31	梨湖フーズ株式会社	8月19日に義平教授が徳寿ファームを訪問し視察した。また、農福連携に関する意見交換およびいちごハウス・土づくりについて助言をおこなった	包括連携	循環農学類 園田教授
32	札幌どうぶつ専門学校	非常勤講師の依頼があった(産業動物学、4～9月)	包括連携	獣医保健看護学類
32	札幌どうぶつ専門学校	本学「グルーミング実習(14回)」および「グルーミング理論(8回)」を先方教員にご対応いただいた	包括連携	獣医保健看護学類
32	札幌どうぶつ専門学校	札幌どうぶつ専門学校より非常勤講師として村田先生・林先生・椿下先生・八百坂先生に依頼があった(2022年度末まで)	包括連携	獣医保健看護学類
33	浜頓別町	浜頓別町ジュニアガイドアカデミーにて小学生が本学に来学した(9月10日・11日)	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	10月5日に浜頓別高校にて吉田教授が授業を行った	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	10月24日浜頓別高校総合的な探求の時間における講師依頼があった(オンライン対応)	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	11月18日浜頓別高校総合的な探求の時間における講師の派遣依頼があった	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	クッチャロ湖におけるタンチョウの行動及び繁殖分布調査と越冬地の追跡を実施する予定であったが捕獲に至らなかった(9月～2023年1月)	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	公開シンポジウム「農村に若者を呼び込む交流集会」を開催(12月8日)した	地域総合交流	環境共生学類
33	浜頓別町	はまとんべつ2022酪農体験ツアー(6月31日～9月2日)を実施した。	地域総合交流	環境共生学類
34	JA北海道中央会	起業化セミナーを実施する予定としていたが、学生が集まらず実施できなかった	包括連携協定	農食環境学群
34	JA北海道中央会	インターンシップWEB合同セミナーにご参加いただいた(6月24日)。キャリアデザインⅠの授業内で生配信した。	包括連携協定	農食環境学群
34	JA北海道中央会	JA北海道中央会より令和4年度食と農でつながるサポーターづくり優良事例表彰の審査について糸山先生宛に委嘱依頼があった(5月21日まで)	包括連携協定	農食環境学群
34	JA北海道中央会	JAようていアスパラ生産組合の視察研修に関して園田先生宛に依頼があった	包括連携協定	農食環境学群
34	JA北海道中央会	新篠津村農産物を利用した加工に関する研究 石井先生(JA新篠津村、2022年7月1日～2023年3月31日)	包括連携協定	農食環境学群
35	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	江別市内スーパーにおけるBtoB訴求事業を行った(10月14日・28日、11月7日)	包括連携	社会連携センター
35	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	酪農学園マルシェにおいて冷蔵庫を貸していた	包括連携	社会連携センター
35	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	企業説明会・業界セミナーにご参加いただいた(食品卸売・小売業界セミナー(対面)10月13日6名参加、就活解禁直前合同業界セミナー(WEB)2月8日5名参加)	包括連携	社会連携センター
35	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	茶粕のエコフィード化に関する研究 西寒水先生・山田(未)先生・土井先生(2021年5月1日～2024年3月31日)	包括連携	社会連携センター
36	株式会社サングリン太陽園	産学連携ドローン教習コースを継続して運営した	包括連携	農食環境学群
36	株式会社サングリン太陽園	JAしんしのつにて本学・サングリン太陽園(・WHOOPSドローン学校)がドローン講習会を実施した	包括連携	農食環境学群
36	株式会社サングリン太陽園	JA道央のお米を100kg寄付していただいた	包括連携	農食環境学群
36	株式会社サングリン太陽園	11月21日(月)、北広島市にて収穫されたお米200kg・たまねぎと飲料・レトルトカレーをご用意いただき学生サービセンター会議室ABを会場として本学学生(200名)向けに配布した	包括連携	農食環境学群
36	株式会社サングリン太陽園	サングリン太陽園にて発行されている「太陽と水と土」という冊子にて横川課長のお子さんの絵が紹介された	包括連携	農食環境学群
36	株式会社サングリン太陽園	企業説明会・業界セミナーにご参加いただいた(単独企業説明会4月19日1名参加・12月5日1名参加、インターンシップWEB合同セミナー6月24日30名程度参加、酪農・畜産・農業系業界セミナー11月17日7名参加、就活解禁直前合同業界セミナー2月6日5名参加)	包括連携	農食環境学群
37	島根県	福森先生が引率をして島根県内で実習をおこなった(8月29日～9月2日) 本学獣医学類の4年生・5年生が島根県にて学外実習を実施した。本実習においては島根県内の家畜保健衛生所・家畜病性鑑定室・食肉衛生検査所・畜産技術センター・診療所・牧場に伺い、多くの経験をさせていただいた。 https://www.fnn.jp/articles/-/411933	連携	獣医学群
37	島根県	企業説明会・業界セミナーを実施した(公務員獣医職合同説明会(WEB)5月13日0名)	連携	獣医学群
38	農林水産省北海道農政事務所	山田英也所長を講師に迎え、①「飼料の生産・利用の状況について」、②「6次産業化と農山漁村発イノベーションの推進について」と題した2つのテーマの農業政策について説明を受け、ディスカッションをした。	包括連携	情報政策局
38	農林水産省北海道農政事務所	酪農経営学の中で、山田英也所長を講師に迎え、緑の食料システム戦略の概要と道内での先進事例、今後の展開方向について特別講義を実施していただいた。	包括連携	情報政策局

協定実績 2022年度

38	農林水産省北海道農政事務所	獣医・畜産系技術職員業務説明会を12月14日に実施した。	包括連携	情報政策局
39	八紘学園	クリニカルローテーションの実施。毎週水曜日：乳牛繁殖検診 不定期：一般診療、ワクチン等牛管理 本学獣医学類5年生必修科目となる畜ークリニカルローテーション（前期）、生産動物医療学分野クリニカルローテーション（後期）において、八紘学園の農場へ伺い、乳牛の検診や一般診療の実習をさせていただいた。	包括連携	獣医学類 杉浦助教
39	八紘学園	八紘学園からの依頼による専門学校生への研究協力。乳牛の採卵成績と血中抗ミューラー管ホルモン濃度の関係を検討するため、本学動物医療センターのカルテデータを用いて過去直近4年の八紘学園農場の採卵成績の集計、提供した。また、採卵牛の血液のサンプリングも担当した。それらの集計データと血中抗ミューラー管濃度結果の解析、および八紘学園学生さんとのディスカッションを実施し、学生さんの研究発表へ協力した。	包括連携	獣医学類 杉浦助教
39	八紘学園	乳汁を用いた発情鑑定kit開発のための乳汁サンプリング。発情鑑定kit開発に必要となる乳汁サンプル約25頭分の乳汁サンプル採取にご協力いただいた。	包括連携	獣医学類 杉浦助教
39	八紘学園	本学主催の農業用ドローン基礎講習会に八紘学園学生が4名参加した。	包括連携	農食環境学群
39	八紘学園	2022年度の非常勤講師として、杉浦先生・安藤先生・森好先生・阿部先生・金子(正)先生・義平先生・西寒水先生宛に依頼があった（2023年3月31日まで）	包括連携	農食環境学群

[戻る](#)